【ハーブ酵素は全身医】

ハーブ酵素こそ本当の栄養素。

enzyme

成人病研究会

bok_ハーブ酵素ー新6_入稿.indd 1 13/6/30 12:30

enzyme 食生活と酵素の関係

食生活を見直す前にもっと重要な事がある

本来、土壌には秋になると枯れ葉が地面に堆積し、それが冬の間に土の中の微生物やミミズなどのえさになって分解され、作物を育てるのに適した腐葉土に変わるというサイクルがあります。

国連環境開発会議によれば、日本の農地の減少率は７６％。実に約８割のミネラル分が失われているといえます。

過去、農薬や化学肥料の多用により生態系の破壊＝環境破壊につながり、以前から取りざたされる酸性雨や、最近の問題としては放射能による影響等々生育する作物も深刻なミネラル不足に陥ってしまっています。つまり、農作物の生産性を高め、安定化や匂い等の扱い易さを求めた代償として、ミネラル不足＝質の低い野菜が出来上がってしまったという悪循環を生みました。こういった悪循環を断ち切り元に戻すのは安易な事ではありません。

酵素の補給は生命力のバロメーター

以前から有機農法、自然農法と呼ばれる自然志向の農法が再評価される機運が高まっています。ただし認可された基準で作られた有機農作物を食べれば安全であるとは安直すぎます。

知らず知らずの内に酵素を生み出さない「死んだ食品」ばかりを口

bok_ハーブ酵素ー新6_入稿.indd 2 13/6/30 12:30

にしていませんでしょうか？

問題となるのはやはり土壌＝自分の腸内環境をいかに改善するかなのです。

さらに言うなら腸であれ土壌であれ活性化した状態はすごく生命力にあふれた状態であらゆる栄養素は、その仲介役となる（触媒）となる酵素の働きが必要です。その意味では、体内の酵素量は私たちの生命力を表すバロメーターのようなものです。その結果、現代人の健康レベルの低下、様々な疾病の増加が引き起こされました。さらに言うなら生命力はカロリーでは推し量れないといえそうです。

注目したいのは良質なサプリメントの摂取です

サプリメントも天然の成分から抽出されたものと化学合成されたものと基本的に2種類製法があります。一概に言えませんが生命力をアップするという視点に立てば、やはり前者のサプリメントを選ぶべきです。天然のものから作られたサプリメントでは厳選された旬の野菜や果物など、50種類以上を発酵させ、より多くの酵素が含まれる状態になっています。

ハーブ酵素を摂ると、カラダは余分に消化酵素を作らずにすみ、その分、代謝酵素を余分に作ることができます。代謝酵素が円滑に作られていれば、自己免疫力がスムーズに働き、合併症などの病気になりにくい体質に保ってくれるのです。

bok_ハーブ酵素ー新6_入稿.indd 3 13/6/30 12:30

enzyme 酵素とは何か？その秘密。

生きる為の必需品、それが「酵素」

私たちのカラダは、日々、摂取する食べ物で作られています。健康なカラダは今日食べた食べ物によって明日作られるのです。このカラダを作る作成者となっているのが「酵素」です。

家に例えると、食べ物が骨組みである木材や水道管、ガス管にあたり、酵素は大工さんに相当します。家が古くなれば、木材はいたみ、水漏れやガス漏れを引き起こします。病気でいう風邪を引きやすくなるという事です。

ビタミンやミネラルは補酵素

食べ物は、炭水化物、脂質、タンパク質、ビタミン、ミネラルの五大栄養素に分かれます。今までの栄養学では、これらをバランス良く適正なカロリーで摂取すれば健康は維持できると考えられてましたが、これは間違いだったのです。酵素なくして、材料ばかり摂取しても健康なカラダは作られないばかりか、材料がダブつき有り余ってしまうことも考えられるのです。ですから、プラス酵素を摂るように心掛けなければ、本当の健康＝少し疲れてもビクトもしない頑丈なカラダは、手に入らないのです。

実はビタミンCやカルシウムなどの微量ミネラル、または栄養ドリンクをきちんと飲んでいても、効き目が現れない謎はそこにあります。ビタミン・ミネラルは「補酵素」と呼ばれ、酵素を補う物です。補う物をいくら摂っても酵素自体がなければ働くことができません。

酵素とダイエットの関係

同じ物を同じだけ食べても、太らない人、太る人がいるのは「酵素」がカギになっています。健康的で太らない人は、酵素がキチンと働いており、太ってしまう人では酵素が不足して、食べ物がダブついて肥満につながっているのです。

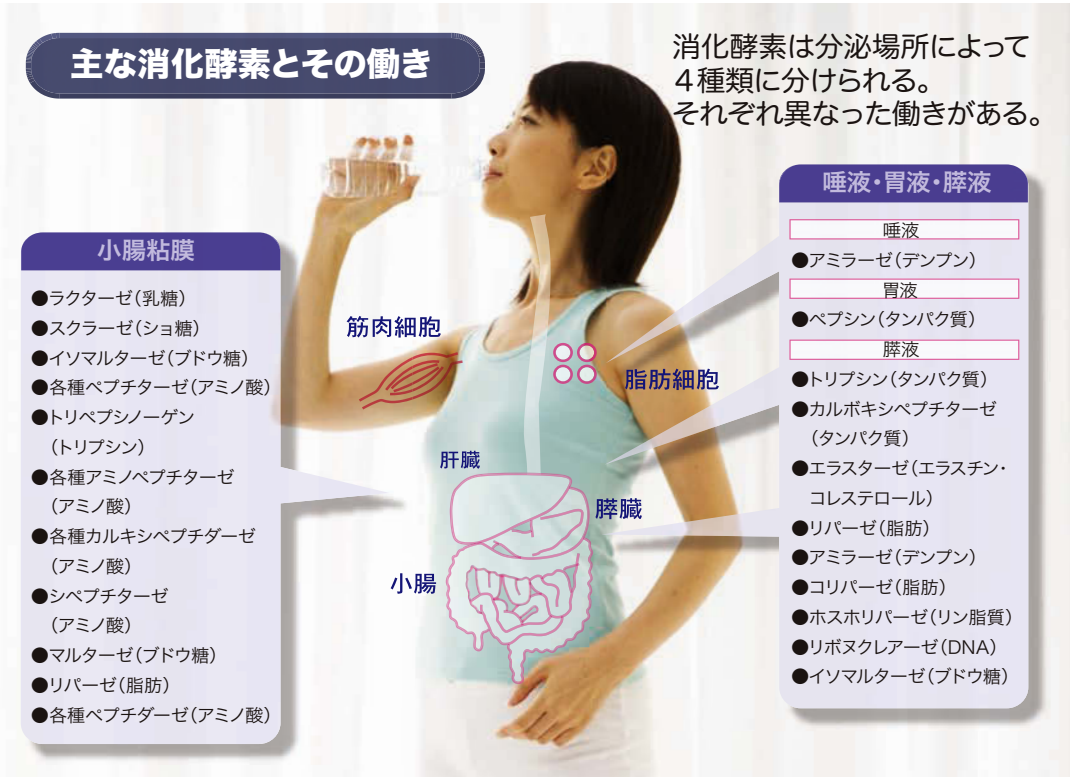
現在の日本の栄養学から言えば、摂取カロリーよりも、消費カロリーの方が少しでも多ければ中性脂肪値もコレステロール値も、血糖値も尿酸値ですら低くなるはずです。ですが、現実には運動療法や食事療法を行っても、それらの数値をコントロールできない人が少なくありません。その原因は酵素不足にあるのです。

enzyme 潜在酵素と食物酵素

カラダの中には「消化酵素」と「代謝酵素」がある

消化酵素とは文字通り、食べ物を消化する酵素です。それ以外を代謝酵素と呼び、腸から吸収された栄養素をエネルギーに変換したり、生命活動を行うための様々な化学反応を起こしています。

bok_ハーブ酵素ー新6_入稿.indd 4 13/6/30 12:30



酵素栄養学の祖、エドワード・ハウエル博士は体内の酵素を「潜在酵素」、食物にもともと含まれている酵素を「食物酵素」と呼びました。動・植物には必ず酵素が含まれています。これを食物酵素と呼びますが、私たち人間は、日々の食生活の中から、知らず知らずの内に食物酵素を取り入れ、その恩恵に授かっているのです。

一方、私たちは潜在酵素（代謝酵素・消化酵素）を製造することができます。消化酵素によって、消化された栄養素を利用し、代謝酵素が正常に働き、健康が維持されているのです。

代謝酵素には数千という種類があり、まだ、その全ては解明されていませんが、脳、心臓、腎臓など至る所で別々の働きをする代謝酵素が存在しています。

これらの代謝酵素が十分に作られ、体内でキチンと働いていれば、病気とは無縁の生活が送られるのです。

消化酵素と代謝酵素のバランスが重要

体内酵素の生涯分泌量は一定なので、いかに消化酵素の分泌を抑え、代謝酵素に回るようにするかが、健康維持と病気になりにくい丈夫な体には不可欠です。

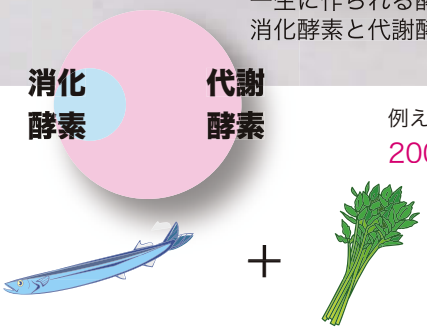
消化酵素の分泌を抑えるには、酵素を含んだ食品を多く摂ることが重要です。酵素を含んだ食品とは、生野菜、果物（ドライフルーツを含む）、生魚、生肉、発酵食品などがそれにあたります。なぜ生物ばかりなのかというと、食品に含まれる酵素は熱に弱く、加熱処理した食事では酵素の大半が壊れてしまうからです。

bok_ハーブ酵素ー新6_入稿.indd 5 13/6/30 12:30

消化酵素と代謝酵素の製造バランス

潜在酵素は消化酵素と代謝酵素に分けられる。
一生に作られる酵素の量は決まっているので、
消化酵素と代謝酵素の製造バランスに気をつける。

例えば酵素をつくる力が
200 の人間がいるとして



焼き魚を 1 匹消化する為に
100 酵素の力が必要な場合

＝80 ……120

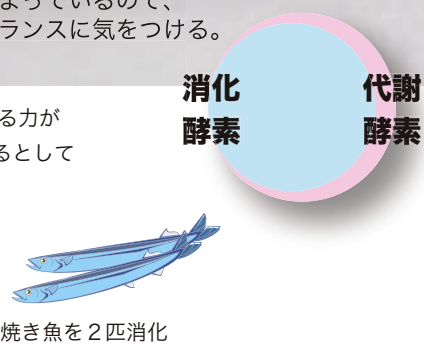
100-20 で体が負担して
持ち出した消化酵素

200-80 を引いた分
代謝酵素に回せる

【酵素のたくさん入った物を食べた時】
体内の消化酵素を節約することにより、カラダを治す働きの代謝酵素を十分に作ることができるようになる。

＋

野菜（食物酵素）
消化を助ける力 -20



焼き魚を 2 匹消化
200 酵素の力が必要とする

＝200 ……0

体が負担して
持ち出した消化酵素

200-200 により全く
代謝酵素に回せない

【酵素の含まれていない物を食べた時】
消化するために消化酵素がたくさん作られるので、その分、代謝酵素の製造がおろそかになり代謝酵素不足となる。

bok_ハーブ酵素ー新6_入稿.indd 6 13/6/30 12:30

enzyme

体内酵素が寿命を決める

人間の体内で作られる潜在酵素は無限ではない

したがって、過剰に消費されると底をついてしまい、寿命に大きく影響をおよぼします。外部から酵素を補うことができれば、潜在酵素の減少を食い止めることができるのです。

つまり、食物酵素を十分に摂れば、限りある消化酵素と代謝酵素の無駄遣いを抑え、健康寿命を引き延ばすことができるのです。代謝酵素がうまく働かないと、色々な病気が現れます。年齢と共に色々な病気が現れ、若い内はムリをしても、一晩寝れば元気になったのに、中年になると、一晩寝ても疲れが取れないなどは潜在酵素不足によるものなのです。若い時のツケが回ってきたとも考えがちですが、一定量しか作られない潜在酵素の過剰消費が問題なのです。唾液中の酵素は69歳以上の人に比べ、若い人の方が30倍も多いという研究結果もあります。

食べ物の消化に使われた酵素、病気の時に免疫力として働く酵素、体内最強の悪玉物質、活性酸素の無毒化をする酵素、五感をつかさどる酵素など、無数の酵素が、今現在も私たちの体内で働いてくれているのです。

「体内酵素を早く使い切るか、温存しながら、いかに大事に使うかによって、長寿と健康は左右される」とハウエル博士は酵素栄養学で説いています。

酵素とアレルギーの関係

人間にはそれぞれ個人差がありますが、酵素を作る能力には限りがあります。消化酵素も代謝酵素も出所は同じなので、消化酵素ばかりを作っていると、代謝酵素のほうが不足してきます。

代謝酵素は、免疫力や自然治癒力や新陳代謝の働きを受け持つ酵素です。それらの酵素が不足してしまうので、当然、ウイルスなどが侵入してきたとき、防衛できなくなります。風邪をひきやすくなったり、アレルギー体質もこの一つとなります。

余分に消化酵素を作らずその分、代謝酵素を作る

以上の理由から様々な病気にかかりやすくなるのはいうまでもありません。

どうして風邪を引くと脂っぽい物は食べたくなくなるのかそれはどうしてかというと、消化しにくいからです。つまり、消化のために酵素を余分に使わなくて済むので、余った酵素の力を代謝酵素に回せるのです。動物は皆、身体の調子が悪くなると、何も食べずにじっとしているようになります。それは、食べないことによって、酵素の力を免疫力や自然治癒力を高める代謝酵素に回そうとするからだということです。つまり食欲がなくなるのも、一つの自然治癒力とみることができるのです。

bok_ハーブ酵素ー新6_入稿.indd 7 13/6/30 12:30

enzyme

酵素不足は万病の素

酵素不足は血液の病気です

私たちが食べた食べ物は、口の中で咀嚼されますが、このとき、唾液の中にあるアミラーゼによって、デンプンが分解されそこから一つになった玉がブドウ糖です。

しかし、その分解が酵素不足で不十分だと、未消化の糖がそのまま吸収されて血液の中を漂います。この未消化の糖は、血液をドロドロにして、赤血球どうしをくっつけてしまいます。これが、血液が汚れるということです。血液の中に未消化の糖分や脂肪が混じって粘りけが出て、赤血球が連なっている状態は、血流、血行が悪くなります。

赤血球は直径が約7ミクロン。毛細血管は5ミクロンです。血管よりも大きな赤血球がどうして血管の中を流れていくのかというと、赤血球は柔軟にできているので、通常、自分よりも細い血管を通る時は変形して通れるのです。しかし赤血球同士がくっつくと、細い血管を通ることができなくなります。身体全体の約９０％が毛細血管ですから、ほとんど体中の細胞に血液が行き渡らなくなり、様々な病気を引き起こすようになるのも当然と言えるのです。

だから普段から酵素を摂ることが必要です。

食べ過ぎや、加熱調理されたものばかりを食べるようになったということです。加熱調理された食べ物には、酵素がありません。そのため、身体のほうが全部、自前で消化するために酵素を作らなければなりません。

ところが、食べ過ぎや、病気・加齢で酵素をつくる力が弱くなっている人では、酵素を作るのが追いつかなくなります。それで、食べたものが十分に分解されないまま、体の中に入ってきてしまうのです。

この場合、本人は栄養を摂っているつもりで食べても、身体の中では異物となってしまっているのです。

材料がタンパク質ですから、加熱されると蛋白が変成して酵素でなくなってしまいます。一般に酵素が耐えられる温度は５０度くらいから、せいぜいから７０度くらいまでですから、加熱した食べ物に、酵素の働きはありません。つまり、加熱したものばかりたべず、酵素の入っている食品を摂るように心がけなければなりません。

酵素は新鮮な生の肉や魚、生野菜、果物には皆酵素が入っています。また、みそ、納豆、糠付けなどなど・・・。この発酵食品にも、酵素が豊富に含まれています。

また、効果的かつ手軽に摂り入れる方法としてハーブ酵素の健康食品も良いでしょう。

bok_ハーブ酵素ー新6_入稿.indd 8 13/6/30 12:30

ハーブ酵素を併用のメリット

良い食生活とともにハーブ酵素を併用すると様々な相乗効果が現れ、デメリットはまったく現れません。
ハーブ酵素を併用することのメリットは次の様なものがあります。

●すべての栄養素が細小単位まで分解されるので、すべての栄養素の補給が行われ、便に残留物が残らない。（腸内腐敗、毒素の発生が抑えられる）

●すべての栄養が吸収されるため、体力がアップする。

●内臓の働きが活発になり、平熱をアップし、免疫・抵抗力を高める。

●消化不良が改善され、腸内環境が整えられる。

●胃の不快感が改善される。

●余分な薬を飲む必要がなくなったり、薬の量が減ったりする。

●炎症が抑えられる。

●血液循環が改善され、赤血球の連銭（赤血球どうしがくっついてしまう状態）がほどけて、血液サラサラになる。

●体内に溜まった毒素が排泄される。

●抗加齢の効果によって、寿命が長くなる。

●以上の様な働きから、合併症になりにくいカラダになる。

寿命が伸び、合併症知らずのカラダになるのですから、驚異的と言わざるをえません。その他にも生活習慣病も改善されたとの報告が数多くあります。

●だるさがとれて、疲れにくくなった。身体が軽くなった。
●ノドの乾きがとれて、トイレの回数が減った。尿の泡立ちもなくなった。
●食後に眠くならなくなった。等々

酵素不足を手軽に効率良く補えるハーブ酵素をお試しください。

インフルエンザとハーブ酵素

インフルエンザなどの病原性ウィルスはタンパク質の粘りのある膜におおわれているため、タンパク質分解のハーブ酵素を飲んでおくと、その膜が分解され、ウィルスが壊されることになります。
また、ハーブ酵素療法では、代謝酵素がスムーズに働くようになるため、基礎代謝が上がります。基礎代謝の向上は平熱を上げることにつながり、低体温症（36.5℃以下）の改善となるため免疫力・抵抗力が大幅にアップし、インフルエンザの予防にもなります。

bok_ハーブ酵素ー新6_入稿.indd 9 13/6/30 12:30

enzyme

酵素不足で起こる病気

【「肥満症」】

肥満症は食生活の乱れが原因ですが、それによって代謝酵素不足となり、脂肪の燃焼が妨げられて起こります。食生活を正しながらハーブ酵素を補うと改善されていきます。

【「糖尿病・高血圧・高脂血症」】

糖尿病・高血圧・高脂血症は病名こそ別々ですが、相互に関係する病気で、いずれか一つ罹患すると合併症として他の病気が現れることが多い疾患です。これらの疾患は典型的な酵素不足で起こる病気で、いずれも細胞内の代謝酵素レベルが極端に低くなっていることが特徴です。そこでハーブ酵素によって消化酵素を補い、カラダが十分に代謝酵素を作れる様にしてやると改善するばかりか、合併症も予防できます。（P20参照）

【「アレルギー」】

鼻炎やアトピー、ぜんそくといったアレルギー疾患は腸の汚れが引き金となっています。これらの疾患は、砂糖や高タンパク食により腸が汚れて腸疾患が起こっているところに、タンパク質が十分にアミノ酸まで分解されずに吸収され、血中では異物（アレルゲン）とみなされ抗原抗体反応が起こり、アレルギー反応として現れるものです。ハーブ酵素は、まず腸疾患を治し、大腸の宿便をとり、タンパク質をアミノ酸まで十分に分解するので、驚くほど改善させます。（P7参照）

【「五十肩」（肩関節周囲炎）】

五十肩は血流が悪くなったことから、肩の筋肉に「ピルビン酸」や「乳酸」といった「毒素」が溜まり、それが原因で肩が上がらなくなったり、後ろにいかなくなったりする症状が現れることを言います。これは赤血球の連銭（赤血球どうしがくっついてしまう状態）から発生します。この赤血球の連銭をほどくのがハーブ酵素です。

【「腰痛」】

腰痛、座骨神経痛、ひざ痛といった慢性の痛みには、ハーブ酵素が有効です。というのも、痛みは酵素不足によって細胞内のクエン酸回路というエネルギーを作り出す回路に食べ物の栄養が入らないと起こるからです。栄養素が入らないと「乳酸」や「ピルビン酸」といった毒素が発生し、それが痛みの原因になります。ハーブ酵素は細胞にきちんと栄養素を送り届け、毒素を排泄するので痛みがなくなるのです。

bok_ハーブ酵素ー新6_入稿.indd 10 13/6/30 12:30

【「頭痛」】

頭痛の原因は腸内のむくみと軽度内圧増加です。その元凶は汚れた血（毒素血球）で、ハーブ酵素で血液をサラサラにしてやれば、頭痛は良くなるのです。

【「メニエール」】

メニエールは耳の中にある三半規管がむくみにより水びたしになり起こります。現代医学では原因不明と言われていますが、実は食生活の乱れが元凶です。めまいを起こすのはむくみですが、このむくみをまねいているのが赤血球の連銭です。

ハーブ酵素は赤血球の連銭をほどき、むくみを改善し、結果としてメニエールがよくなるのです。

【「胃腸障害」「腹部膨満感、下痢、胃もたれ、胃痛」】

前記のような胃腸症状の改善に最も威力を発揮するのがハーブ酵素です。すべての栄養素をすばやく分解し、毒素を十分に出す作用を持っているからです。

【「リウマチ・膠原病」】

リウマチ・膠原病は原因不明の自己免疫疾患と知られていますが、腸内腐敗が原因となっている病気です。ハーブ酵素を摂ると腸内の悪玉菌が減少し、腸内腐敗が食い止められ、根本的な部分から改善されていくのです。

bok_ハーブ酵素ー新6_入稿.indd 11 13/6/30 12:30

enzyme

糖尿病の合併症とハーブ酵素

糖尿病の合併症には次の様なものがあります。

- 神経障害（手足のシビレなど）
- 糖尿病性網膜症
- 糖尿病性腎症
- 高血圧
- 高脂血症
- 心筋梗塞
- 脳梗塞
- 脳内出血
- 動脈硬化
- 白内障
- 膀胱炎・腎盂炎
- 歯槽膿漏
- 皮膚炎
- 壊疽 その他

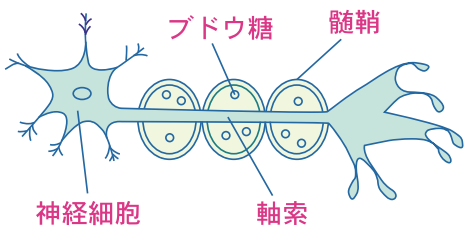
いずれも抵抗力や免疫力の低下、高血糖による血管の障害によって起こるものがほとんどです。これらを予防・改善していくには抵抗力や免疫力を向上させ、丈夫な血管に作り替える必要があります。それには余分な消化酵素の分泌を抑え、前述の合併症を治す「作り手」＝代謝酵素が十分に働ける体内環境が必須です。その体内環境を作るのが「ハーブ酵素」なのです。

bok_ハーブ酵素ー新6_入稿.indd 12 13/6/30 12:31

神経障害の起こり方

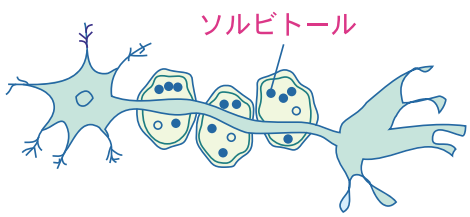
カラダには中枢神経と末梢神経の２つの神経系がある。
末梢神経は、さらに自律神経・感覚神経・運動神経に分けられる。
糖尿病の神経障害は、おもに末梢神経（特に心臓から離れて血流の悪い手先・足先）から起こる。
自律神経障害では「立ちくらみ」などが起こり、感覚神経障害では「シビレ・足裏の違和感」など、運動神経障害では「足がつる（コムラがえり）」などが起こる。

健　常



神経細胞からは「軸索（じくさく）」が伸びていて、ほかの神経細胞に情報を伝達している。
軸索は鞘（さや）の役割をする細胞、髄鞘で取り囲まれており、ここにブドウ糖が取り込まれると、酵素によって、エネルギー源として働くようになる。

糖尿病



酵素バランスがとれていないと、鞘に取り込まれたブドウ糖が過剰になり「ソルビトール」という物質に代謝される。
このソルビトールが溜まると、髄鞘の細胞が膨らんで壊れたり、はたらきが低下したりする。
そのため、手先・足先にシビレや感覚の低下などとして現れるようになる。

bok_ハーブ酵素ー新6_入稿.indd 13　13/6/30 12:31

enzyme 合併症を防ぐ9大原則

合併症が高血糖によって起こるのは間違いありません。しかし、血糖値やグリコヘモグロビンA1cを正常値に保っていても、合併症の進行が食い止められないといった方も少なくありません。

それはなぜかというと合併症は生涯で一定の潜在酵素が減ってきて起こるカラダの消耗と考えられるからです。合併症を防ぐには次の9項目を励行することをお薦めします。

①毎日毎食、酵素の入った食べ物（特に果物と生野菜）を食す。
②老化を起こす食べ物（加熱食、加工食品、白砂糖〈和・洋・スナック菓子など〉、酸化した油、肉・卵の過食）は極力避ける。
③深く良い睡眠をとる（酵素を休息、温存させる）。
④夕食が夜8時以降にならないようにする。
⑤朝食は酵素の多い果物を中心とする。
⑥ハーブ酵素を毎日飲む。
⑦運動療法を行い、良い汗をかく。
⑧1日に2〜3回、量の多い、質の良い便を出す。
⑨ストレスを溜めない。

その他に、ビタミン・ミネラルを摂ることも大切です。

しかし、合併症の予防には、「ハーブ酵素にまさるものはない」と考えられます。というのも、ハーブ酵素は酵素物質のみならず抗酸化物質もミネラル、ビタミン（一部）も入っているからです。ハーブ酵素そのものが最強の抗酸化物質なのです。

合併症は高血糖がある期間続くと現れる症状です。それを防ぐ、最良の物質こそ、ハーブ酵素です。ですから、ハーブ酵素を早い内から飲んでおく必要があるのです。ハーブ酵素は合併症を予防、改善してくれるのです。「酵素の研究」の結果、糖尿病、高血圧、肥満、動脈硬化、心臓病、腎臓病、肝臓病、アレルギー、結核といった疾患時には、細胞内の酵素レベルが非常に低いとの報告もあります。

enzyme 潜在酵素を補助するハーブ酵素

ハーブ酵素を補助として摂ることはビタミンなどのサプリメントを摂ることより重要です。色々なサプリメントを摂るにしてもベースとなるものはハーブ酵素です。そのわけは前述したように潜在酵素には一定量の限界があるからです。合併症をふせぎ、健康を維持するためには最低限、次の2つが欠かせません。

①酵素を含んだ食品を摂ること②ハーブ酵素をキチンと摂ること

酵素を含んだ食品とは、生野菜、果物、生魚、発酵食品などのことです。ハーブ酵素といっても、酵素なら何でもいいというわけではありません。最良のハーブ酵素が必要です。50種以上の果物、野菜、海藻からなるハー

bok_ハーブ酵素ー新6_入稿.indd 14 13/6/30 12:31

ブ酵素は、発酵の過程で元来食品自体が持っている酵素がより活性化し、量も増えています。そのようなハーブ酵素を用いなければなりません。

enzyme 補中益気湯の効能そのままに

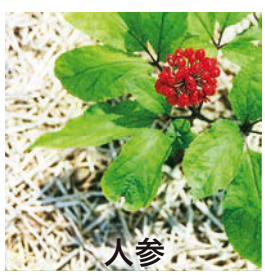
漢方の名処方のなかに「補中益気湯」があります。虚弱体質の人や、疲労感の強い時に飲む薬湯です。

- 人参（ニンジン）　疲労感やだるさをとる。
- 橘皮（キッピ）　胃の調子を整える。
- 生姜（ショウキョウ）　胃腸機能を回復。
- 甘草（カンゾウ）　ノドの痛み、ケイレンに。
- 小茴香（ショウウイキョウ）　関節の痛みをとる。
- 大棗（タイソウ）　筋肉のツリや知覚過敏に。
- 紅花（コウカ）　腹痛を抑える。
- 刀豆（ナタマメ）　膿を出す。下痢や腹痛にも。
- 我朮（ガジュツ）　胃の調子を整える。ガンの予防。

ハーブ酵素は、この薬湯の効能はそのままに、素材成分のみをこれらの植物エキスに置き換えています。酵素本来の免疫力と抵抗力を高める力に加え、ハーブ酵素では漢方由来の植物エキスによって、さらにそれらの力が高められ、カラダの奥底から元気を導き出してくれるのです。

補中益気湯

漢方の古典である中国の医書『内外傷弁惑論』に記されている補気剤の代表的処方であり「医王湯」の別名を持つ。病中、病後、手術後などの弱った体力を回復させる。また、内臓全体を持ち上げる作用がある。



bok_ハーブ酵素ー新6_入稿.indd 15　13/6/30 12:31

20131003

※本書の無断複写(コピー)は法律で禁じられています。

《参考文献》「スーパー酵素医療」・鶴見隆史著・グスコー出版刊
「医者も知らない酵素の力」・Eハウエル著・中央アート出版刊
「酵素力革命」・新谷弘実著・講談社刊

成人病研究会
健康医学普及協会　http://www.ken-ikyo.or.jp/
0120-875-114

ハーブ酵素こそ本当の栄養素

●監修　永井朋人
●発行所　成人病研究会　　〒330－0801　埼玉県さいたま市大宮区土手町
電話 /048-662-6503 ファックス /048-662-5103

bok_ハーブ酵素ー新6_入稿.indd 16　13/6/30 12:31